

# 次年度もオクラ日記よろしくお願いたします！



## オクラ日記 NO. 5



今回は「スタンドオフ10番」のお話です。全く耳にしない表現だと思いますがラグビーにも背番号があります。高校野球ではご存じの方が多いと思います。「1」はピッチャー、「2」はキャッチャー、「3」はファーストというように一般的に高校野球のレギュラーは「1番から9番」、ベンチ入り選手を含め「20番」まで背番号を付けて試合に臨みます。

これと同様にラグビーでも一般的に「1番から15番」までがレギュラー、リザーブを含め「23番」までが背番号を背負うことになります。野球同様に背番号でポジションと役割が決まっています。

その中で「10番=スタンドオフ」を付けた選手は、試合の進行を司る重要な役目なのです。試合の流れを読み、相手チームの動きを見極めて自分のチームを動かす司令塔がスタンドオフというポジションです。司令塔は常に冷静な状況判断が求められます。相手チームがどのような動きで攻めてくるのか(キックを使うのかスクラムで押してくるのか等)を見極め、自分のチームをどのような形で相手と対峙するのかを指示します。

目標を立てチーム(みんな=クラス)で成し遂げていくには指示を出すが必要になってきます。これは皆さんが運動会や合唱コンクールで経験したことでしょう。指示はただ出すだけではなく、自らも動き他者の意見や考えに耳を傾けていかなければいけません。コミュニケーションを大切にすることが重要です。これから行事の実行委員や係活動、部活動での役割が自分自身に回ってきたら、積極的にコミュニケーションを取りながら自らも動くという信念をもってほしいものです。皆さんならきっと素晴らしいスタンドオフ10番の背番号を背負うことができますよ。

これまで「オクラ日記」をご一読していただき感謝申し上げます。年度途中から大槻校長先生が発行される月1回の学校だよりに掲載させていただきました。今までにない学校だよりに目指し、記事を書かせてきました。ラグビーに関する記事ばかりで申し訳なく感じていますが、長年携わっているラグビー(小学校3年生から始め、現在クラブチームで試合に出場)から学ぶことが多くありました。

実際、社会の中で先輩方に対する言動一つとっても、このラグビーの精神から学んだと思います。常にラグビーは仲間を信じ、仲間のミスのリカバリーする姿勢が問われます。ラグビーだけに限らず学校でも学級でも同じことだと思えます。また、新年度から「大中プライド」を見せてください！

皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております！次回(新年度)はキャプテンが試合に臨む前に行うロッカー内でのお話です。(このお話は涙・涙・涙)